

チーム感染対策責任者は、競技会開催日に本紙「ガイドライン」を携帯し、選手・スタッフへ徹底させること。

秋田市サッカー協会 感染予防ガイドライン(トレセン)

シーン	項目	項目
事前準備	(1) チーム内において 感染対策責任者 を定める。	
	(2) 注意事項（ガイドライン）を読み、選手・スタッフ・関係者全員が理解する。 不安がある場合は参加を見送る	
	(3) 秋田市サッカー協会から 健康チェック表 を入手し、 競技会受付時まで に健康チェックを行う。 選手・観戦者・引率父兄が、体温37.0℃以上・9つのチェック項目に1つでも該当する場合は参加できない。	
往復移動	(1) マスク を着用する。	(2) 会場に到着後、手洗い、消毒、うがいをする。
	(3) 寄り道をせずに、できるだけ早く目的地に向かい、帰宅する。	
開催前	(1) 選手・指導者・スタッフ・審判員・運営理事・観戦者はマスクを着用する。	
	(2) 健康チェックシート を協会運営理事に提出する。【競技会受付時に】	
	(3) ミーティングの回数・時間を減らす、もしくは行わない。	
	(5) 着替えはチームで集まって行わず、素早く済ませる。	(6) 握手やハイタッチ等は行わない。円陣は行わない。
開催中	試合関係者のコミュニケーション、給水等	
	(1) スタッフ・交代選手等、ベンチに座る人はマスクを着用する。	
	(2) ベンチでの選手間の距離を保つ。	
	(3) プレー以外の不要な接触を避ける（得点後の喜び、交代時の握手）。	
	(4) ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも距離についてしっかりと配慮する。	
	(5) 交代選手は、アップ時の他の選手との距離にも注意を払う。	
	(6) ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐いたり、手鼻をかまない。	
	(7) うがいた水をピッチ内に吐かない。	(8) ボトル・タオル等を他の選手と共有しない。
	ハーフタイム・交代・退場時、試合終了時	
	(1) 怪我をした選手を他の選手がむやみに接触しない。また、ピッチ外に当該選手を移動させる際は、おんぶやだっこを避ける。	
(2) 試合後のチーム、審判員との挨拶と握手、相手チームベンチへの挨拶は行わない。		
開催後	(1) 着替えは、チームで集まっておこなわず、素早く済ませる。	
	(2) 試合会場のルールに従い、ゴミを密封した状態で持ち帰る。	
帰宅後	(1) 手洗いうがいを徹底する。	(2) 早めに就寝し、十分な睡眠時間を確保する。
事後対応	(1) 帰宅後 14日以内 に、チームの中から感染者が出た場合は、 秋田市サッカー協会理事長 に速やかにその旨伝える。	

事業・大会の中止（中断・延期）の判断基準

判断基準	(1) 秋田県による緊急事態宣言発令。	(2) 県・市町村施設(グラウンド)の使用制限。
	(3) 秋田県が発出する新型コロナウイルス感染警戒レベル（レベル1～レベル5）	
	(4) 秋田県サッカー協会・秋田県体育協会・秋田県スポーツ少年団等、 上部団体からの事業自粛要請。	
	(5) 秋田市サッカー協会加盟チーム内 所属選手が感染者として認められる。	
	※ なお、協会加盟チーム内所属選手が 濃厚接触者 となった場合は、その選手を出場停止とする。	

秋田市サッカー協会の感染防止対策・予防対策

事前準備 運営方法	(1) 開催当日朝に、検温と別紙「健康チェックリスト」を行い、リスト全てに該当しない場合は参加しません。	
	(2) 開催日ごとに 感染対策責任者 を任命し、感染対策の指揮・指導を行います。	
	(3) (非接触型)体温計・消毒液・液体せっけん 等の予防のための物品を会場に用意します。	
	(4) 事業運営理事は マスク を着用します。	(5) 諸室の 換気 に努め、物品の 消毒 を行います。
	(6) 事業運営理事は 必要最小限 に絞ります。運営本部においては 密集せず 、感染防止に努めます。	